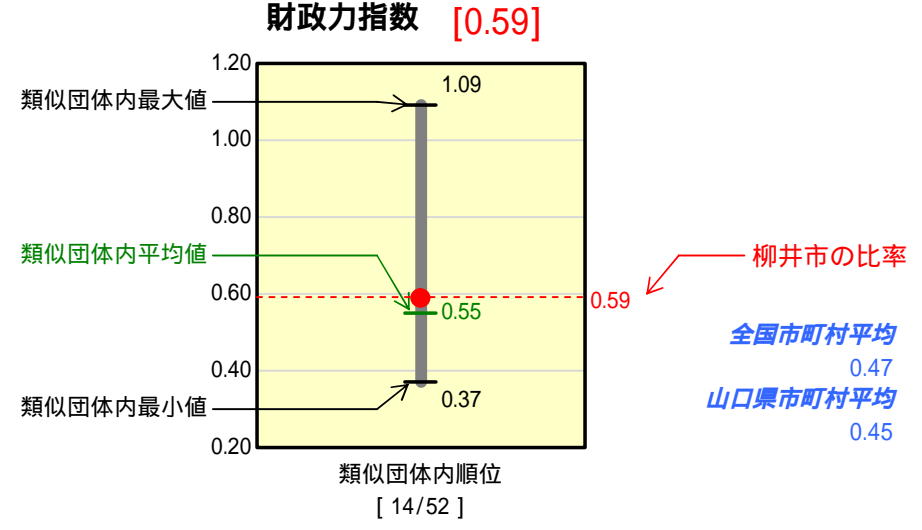


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

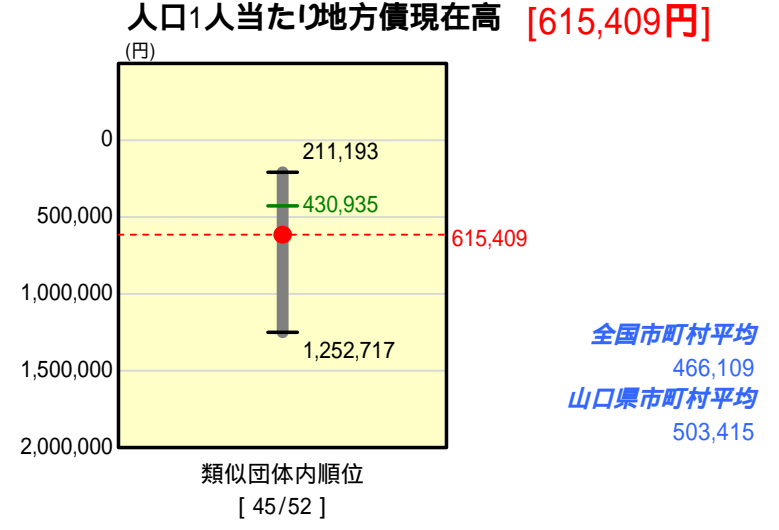
山口県 柳井市

| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 36,876 人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 139.87 km ² |
| 歳入総額 | 18,830,917 千円 |
| 歳出総額 | 17,892,961 千円 |
| 実質収支 | 763,337 千円 |

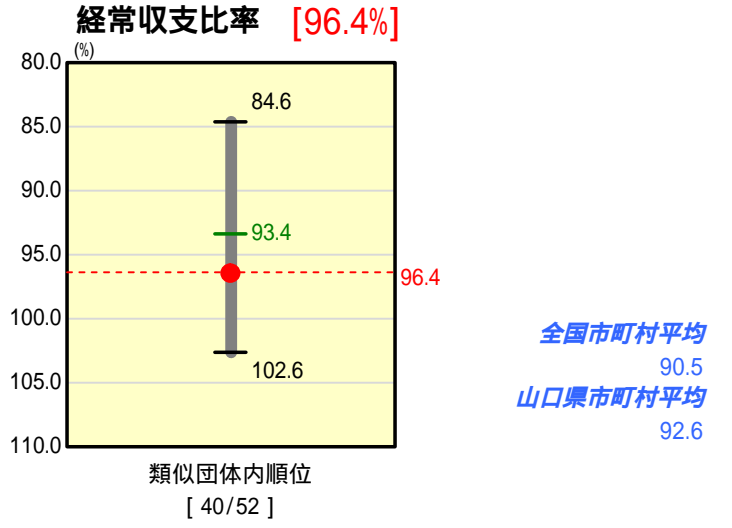
財政力



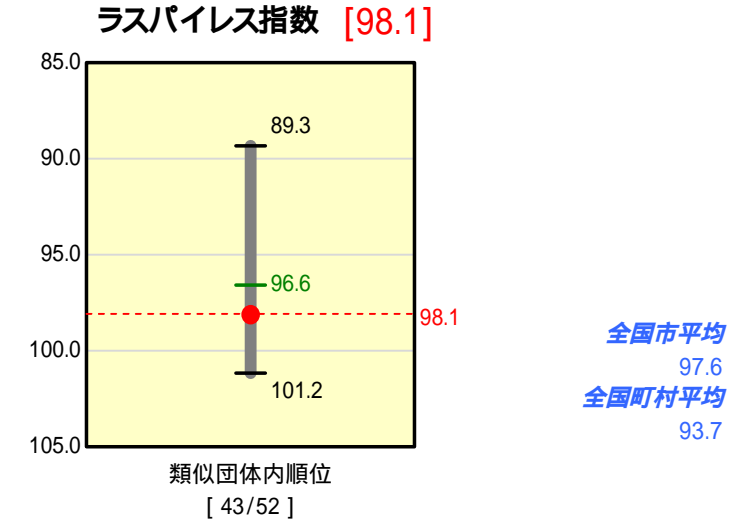
将来負担の健全度



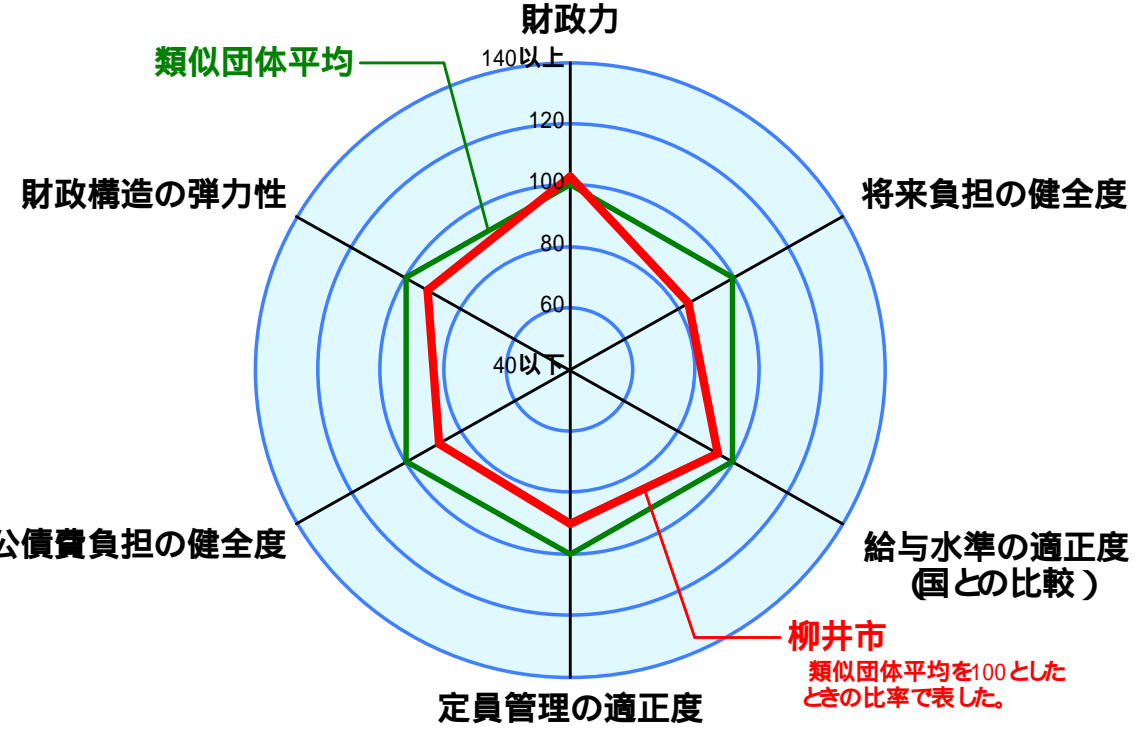
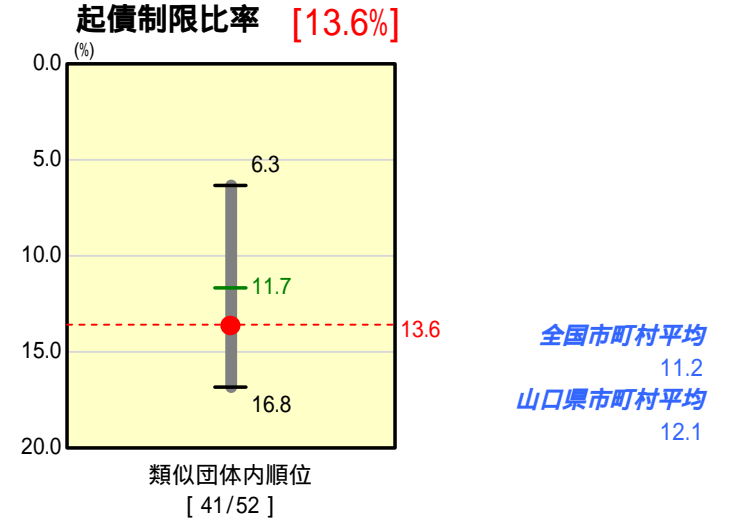
財政構造の弾力性



給与水準の適正度 (国との比較)



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う

分析欄

財政力指数
大型事業所等により類似団体平均を上回る税収があるため、0.59となっているが、近年は償却期間の経過とともに低下している。後年の財政基盤の安定化と市民参加の推進による個性ある地域づくりの展開に努める。

経常収支比率
平成17年2月21日1市1町合併を行っている。合併年度の諸経費の増加などにより、96.4%と類似団体平均より高い水準となっている。新市として、定員適正化(5年間で5.5%減)、旅費等の内部経費見直し(8百万円)、補助金等の縮減、事務事業の見直し(5年間で102百万円)等の集中改革プラン実施実現に努める。

起債制限比率
前年度より0.6ポイント上昇し、類似団体平均より高い水準となっている。これまでの低利率と効果的な起債事業の選択により元利償還金の増加は概ね抑えられていたが、民間資金への移行傾向と新市建設計画に伴う事業実施を鑑みると、今後数年間の上昇傾向は否めない。今後は、緊急度・住民ニーズを的確に把握した適切な事業選択と世代間負担平準化などに努める。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を上回っている。後世への負担をできる限り軽減できるよう、新規発行債の抑制と世代間平準化に努める。

ラスパイレズ指数
類似団体平均より高い水準となっている。今後も、国に準じた給与制度により給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数
合併要因もあり、類似団体平均より高い水準となっている。新市における定員適正化計画により、適切な定員管理(5年間で5.5%減)の実現に努める。

定員管理の適正度

